company newsletter

10

赤帽・ダンべぇときどき新聞 VOL13

2016.10.1　平和を考える　フレンドシップフェスティバル　　発行元　小久保運送有限会社

写真は昨年の様子。手前はオスプレイです。今年は来てなかったです（＾＾

毎年この時期に行われている横田基地日米友好祭。フレンドシップフェスティバル。

普段は決して見ることはできない、基地内の様子や様々な軍用機（自衛隊も参加）の展示、アメリカンサイズのジャンキーな食べ物や物品販売、ステージでのライブ等々、1日中アメリカ気分？を味わえる人気イベントです。

メディアで伝えられることが少ないからか？私は知らなかったのですが、昨年初めて行き楽しみまして、今年も先日9/18に行って参りました。

身分証明書を見せて門をくぐり基地に入れば、そこはまさにお祭広場。ずらりと並ぶ軍用機。沢山の様々な屋台。そして米兵、自衛隊、警察等の方々が普段は見せないだろうフレンドリーな笑顔で我々を迎え入れてくれます。

まずはこのオープンスタイルに感動。基地の大きさに圧倒され、自衛隊や米軍の戦闘機の展示に興味深々。さらに輸送機のコックピットに座らせてくれる太っ腹さに感激。写真撮影に、フレンドリーに対応する日米兵隊さんに触れることもでき、まさしく日米友好祭だと思った次第です。

気になったのは、高齢な来場者。年齢的に複雑な心境にならないのかな？と思いました。

ですが平和だからこそ実現する、このお祭り。そういう意味では、**平和の大切さ**を本当に実感できた1日でした。来年もあるでしょうから、ご興味ある方は是非おでかけください。（TK）

「見守りサービス」って知ってますか？

見守りサービスってご存知でしょうか？私の記憶が正しければ、最初はポットの利用状況を見守っている相手にネットを使って伝えるというものだったと思います。2001年に象印マホービンが始めたこのサービス、現在まで利用者延べ人数が1万人を超えるそうです。この数字が多いのか少ないのか？ちょっとわかりませんが、これだけ高齢化社会と騒がれている中では個人的にはもっと利用があってもいいのではないか？と思います。

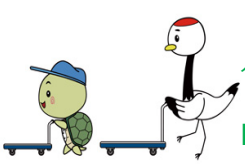
現在、調べてみると、たくさんの同様なサービスが登場してます。中にはネット環境があれば、420円で照明器具の利用状況を知らせてくれるサービス等もありました。IoTが注目される中、これから我々の日常にあるモノとIT技術が結びついて、色々なアイディアで孤独死を少しでも減らすサービスやモノがさらに開発されていくのでは？

神奈川県のHPにはそうした見守りサービスを提供している会社やサービスの詳細を記載した、専用ページまで作られていました。県がプッシュしているという背景には、高齢化社会の急激な進展があるのだと感じます。

先日もかたづけダンべぇに、ある不動産屋さんから問合せがあり、「孤独死された入居者の遺品整理」を打診されました。聞けば死後、2か月程経っているとのこと。また弊社で以前サービスを提供させて頂いたお客様が、孤独死されたということを後になり聞かされたこともございます。

その時の弊社担当者は、「危惧してたことが起こってしまった。」と、絶句しておりました。

こうした見守りサービス。孤独死や事故を少しでも減らすという意味においても、今後もっと有効活用すべきではないか？と思うのです。弊社でも取り組みを検討しております。



ダンきち（亀）＆ベッコ（鶴）
（かたづけダンべぇマスコットです）
http://danbe.jp

手作りお菓子の店 Petit Ange プチ・タンジュ さん

伊勢崎市の境木島の住宅街にちょこんと佇む「**プチ・タンジュ**」さん。女性オーナーの新木さんが作る、手作りお菓子のお店です。偶然通りかかるような場所ではないし、敢えて宣伝もしない。それでも、今年の6月で6周年を迎えた、リピーターさんの多い地域密着型店です。

焼き菓子を中心に、シフォンケーキやプリンが看板メニュー。すべてに共通しているのが、甘さ控えめで、しつこくない。毎日食べてもOKなお菓子ってところ。もともと新木さんは、華やかでオシャレな洋菓子よりも、やや無骨な地方菓子が好きなんだそう。どの商品も、どこか素朴で親しみやすい味わいが魅力です。

お菓子とあみぐるみのセット

来店の際には必ずTELにてご確認を。都合で急なお休み等が入ることもございます。

「Petit Ange プチ・タンジュ」
住所：伊勢崎市境木島218-7
電話：0270-76-2880
詳細はサイトで確認→

出典　伊勢崎佐波エリアを発見するサイト「アイマップ」
http://www.imap.ne.jp

ひとこと

行事育って知ってますか？最近私も雑誌で知りました。要するに、家族や隣人と行事を楽しむ経験を通じて、絆や心などを育み、人としての根っこを丈夫にしていくこと。なのだそうです。

思い起こせば子供時代、我が家は行事の少ない家でした。特に、赤帽を創業してからはそういう傾向があったように思います。

クリスマスや誕生会、七夕に、十五夜、夏祭りにお盆にお彼岸等々。色んな行事があります。よね。子供の頃クリスマスの夜、両親が忙しくてケーキの無い我が家に、少し拗ねてしまったこともありました。

そういう意味では会社にとっても年中行事は大切なのかもしれません。人としての根っこを、丈夫にしていくために。